



きした 敬 二 木下敬二 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

児童虐待で検証委設置を求め!

自民党代表質問に登壇



再質問で執行部に迫る木下県議

野田市の女児死亡

木下議員 先月24日に野田市で10歳の女の子が亡くなり、両親が逮捕されるといふ、大変痛ましい事件が発生しました。幼い命が失われたことは、悔やんでも悔やみきれません。謹んでご冥福をお祈りいたします。野田市における女児死亡事件について、このような事案を二度と発生させないために、県としてのように取り組んでいくのか。

森田知事 本件のケースの取り扱いでは、児童相談所の判断の場面において多くの課題があったものと認識しています。県では、原因の徹底的な究明と、関係機関が今後取り組むべき再発防止策について綿密な検証を行うため、学識経験者や医師、弁護士、臨床心理士等の専門家で構成する「千葉県児童虐待死亡事例等検証委員会」を2月21日に開催し、本事業に関する検証を開始することとしています。

同委員会ですっかりと検証を行うとともに、**まず、緊急的な対応として、在宅で指導中の虐待ケースの安全確認など、個々のケースの再点検を確実に実施し、**

●また、4月からは、職員の増員や警察OB及び非常勤弁護士の全児童相談所への配置等、組織体制を強化します。

これらにより、未来ある子どもたちの大切な命が二度と失われることのないよう、再発防止に全力で取り組んでまいります。

当初予算の基本方針

木下議員 知事の政治姿勢について、第一として財政問題について伺います。

県財政は、高齢化の進展による社会保障費の増加など、決して楽観できるものではありませんが、景気の回復により安定した歳入が見込まれる今こそ、県民の暮らしを支える施策の充実や、更なる発展の礎となる社会資本整備などを着実に進めていかなければなりません。

そこで伺います。平成31年度当初予算案は、どのような基本方針のもとで、何に重点をおいて編成したのか。

森田知事 平成31年度当初予算は、総合計画「次世代の未来」に基づき、**速やかに検証を行って、全国のモデルとなるような体制整備を行い、二度と悲劇が繰り返されることのないよう、知事が先頭に立って全力で取り組まれることを要望します。**

また、一つの機関で防ぐことは難しいよう、主要な関係機関の県教育委員会、警察本部、さらには専門家としての弁護士等と連携して、しっかりと連携を取り、再発防止に努めるよう要望します。

原因究明と再発防止に全力

南房総市・安房郡選出で、昨年2月から自民党県連の政務調査会長の重責を担ってきた木下敬二(きした・けいじ)県議は、開会中の2月県議会でも政調会長の立場から自民党の代表質問に3度目の登壇を果たしました。木下会長は、51名の自民党議員団を代表して、森田知事の政治姿勢など、幅広く県政の重要課題について取り上げ、中でも今年1月に発生した野田市の女児虐待死亡事案では、県の対応が十分だったと厳しく指摘しました。県教育委員会や警察本部、弁護士などによる検証委員会の設置を求め、早速実現させました。

また、2月議会の主要議題である県の新年度予算案については、森田知事ら執行部の基本方針をたどりました。木下県議の代表質問を特集しました。

●また、4月からは、職員の増員や警察OB及び非常勤弁護士の全児童相談所への配置等、組織体制を強化します。

これらにより、未来ある子どもたちの大切な命が二度と失われることのないよう、再発防止に全力で取り組んでまいります。

要望 速やかに検証を行って、全国のモデルとなるような体制整備を行い、二度と悲劇が繰り返されることのないよう、知事が先頭に立って全力で取り組まれることを要望します。

また、一つの機関で防ぐことは難しいよう、主要な関係機関の県教育委員会、警察本部、さらには専門家としての弁護士等と連携して、しっかりと連携を取り、再発防止に努めるよう要望します。

代への飛躍 輝け!ちば元氣プラン」に掲げた施策を着実に推進し、しっかりと成果を上げるとともに、東京オリンピックパラリンピックに向けた取り組みや、防災減災対策など、喫緊の課題についても確実に対応を図ることを基本的な考え方として編成しました。

具体的には、

- 県立高校の普通教室への空調設備や私学助成の拡充、幼児教育・保育無償化の実施などの子ども・子育て世代への支援の充実
- 外国人介護職員の就業促進などの「医療・福祉の充実」

県庁舎の整備方針

木下議員 県庁舎は、災害発生時には県民の生命、財産を守る司令塔として重要な役割を担いますが、建築後相当の年数を経過しているものもあります。県庁舎等の長寿命化対策をどのように考えているのか。

高橋副知事 県庁舎の敷地内には、議会棟を含めて複数の建物があり、今後10年から20年の間に建て替えや大規模改修が必要な時期を迎えることから、将来の庁舎のあり方や整備手法等を検討する時期にきています。

このため、昨年度策定した「県有建物長寿命化計画」との整合性を図りつつ、庁舎整備に向けた基本的な考え方である「県庁舎等の整備方針」を策定し、県庁舎等を一体的かつ計画的に整備していきたいと考えています。

なお、方針の策定に当たっては、分散している本庁・本局機能の集約化なども含めて検討してまいります。

●道路ネットワークの整備や、県有施設の長寿命化などの「社会基盤づくり」をはじめ、「商工業の振興・雇用」「農林水産業の振興」など各分野にわたり、「くらし満足度日本二の実現に向けた事業に予算を重点的に配分したところです。

イノシシ捕獲の単価引き上げ!

有害鳥獣対策で要望

木下議員 本県におけるイノシシやシカ、サルなどの有害鳥獣による被害は大変深刻な状況であり、わが党としても、これまで幾度となくこの議場で取り上げてきました。地域の基幹産業である農業においては、農業者が耕作をあきらめることなく、営農意欲を持ち続けられる環境を作ることが、地域の存続という観点からも重要です。

そこで伺います。有害鳥獣対策について、どのような強化を図っていくのか。

滝川副知事 本県における農作物被害額の半分を占めるイノシシについては、市町村が行う捕獲に対する補助単価を、成獣については3千円から4千5百円に大幅に引き上げるなど、捕獲の強化を図ってまいります。

また、イノシシの棲み家となっている耕作放棄地での刈り払い作業への補助についても、要望を踏まえ、来年度は事業実施市町村数、刈り払い面積とも拡大して取り組んでいく予定です。

さらに地域ぐるみで総合的な対策に取り組むモデル事業については、効果・課題を検証し、そのノウハウの普及に取り組みとともに、生息域の拡大防止のため、県による捕獲事業の実施区域の見直しを行います。

アカゲザル根絶を

木下議員 特定外来生物でもあるアカゲザル対策について、どのように取り組んでいくのか。

滝川副知事 県はこれまで、アカゲザルの生息状況調査に基づき、大型オリ及び中型オリを10基設置して、捕獲を実施してきました。

今年度は、大型1基、中型2基を新たに設置するとともに、新たに市町村に対して「わな」による捕獲を許可したことから、県が把握している行動域などの情報を提供するなど、市とも連携し捕獲を強化しているところです。

来年度は、地形や群れの状況等に応じて、さらに4基のオリを追加し、合計17基による捕獲を行うとともに、専門家の意見も十分伺いながら、より効果的な捕獲方法の検討を進めるなど、特定外来生物であるアカゲザルの根絶に向けて、取り組みを強化してまいります。



自民党を代表して質問する木下県議

2月県議会代表質問から

要望 有害鳥獣対策をはじめ、地域にとって切実な、早急な対応が求められる課題に対し、執行部においては、しっかりと取り組んでいただくよう要望します。

第二湾岸具体化を検討へ

木下議員 知事は、1月17日に国へアクアライン通行料金800円の継続と本県湾岸地域における新たな高規格の道路ネットワークの早期具体化について要望を行ったが、その趣旨は何か。

森田知事 アクアラインの通行料金800円によって、観光振興、企業立地の促進、地域経済の活性化が図られるなど、「人」モノの流れが活発化し、本県はもとより、首都圏全体に大きな経済効果をもたらしています。

水総研の施設整備

木下議員 水産業は、水産資源の減少や漁場環境の変化等に直面し、これらの課題や変化に対応するためには、水産総合研究センターの研究機構を強化することが必要です。そこで伺います。水産総合研究センター施設の再編整備計画を、今後どのように進めていくのか。

滝川副知事 水産業が直面する課題等に的確に対応するには、最先端技術の導入による試験研究業務の高度化や、良質な種苗の安定生産に向けた種苗生産業務の効率化を図ることが必要です。

このため、先月公表した「水産総合研究センター施設の再編整備計画」案では、ICTや遺伝子情報を活用した研究を進めるための施設整備や、マダイやアワビ等の種苗生産の集約化に取り組むこととしています。

さらに、研究センターの本所、東京湾漁業研究所及び種苗生産研究所勝浦生産開発室を「千葉県有建物長寿命化計画」の整備計画の中に位置づけたところであり、今後、計画的に施設の再編整備を進めてまいります。

ワークが、具体的に検討を加速するとの方針が示されました。大変喜ばしいことであり、湾岸地域の渋滞緩和のみならず、本県の更なる発展に向けて、大きな前進です。ぜひ力強く取り組んでいただけるよう要望します。

要望 有害鳥獣対策をはじめ、地域にとって切実な、早急な対応が求められる課題に対し、執行部においては、しっかりと取り組んでいただくよう要望します。

また、アクアライン着岸地を含む本県湾岸地域は、京葉道路や国道357号などで交通量が多く、慢性的な渋滞が発生しており、今後も港湾機能の強化や物流施設の立地等に伴う交通需要の増大が見込まれています。

このため、交通の円滑化を図り、湾岸地域のポテンシャルが十分発揮できるように、第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークを早期に具体化するよう、要望してきます。

自民党の代表質問項目

- 野田市における女児死亡事案について
- 知事の政治姿勢について
- 成田空港の更なる機能強化について
- 防災危機管理対策について
- 障害者福祉について
- 東千葉メディカルセンターに対する追加財政支援について
- 10連休中の救急医療体制について
- 有害鳥獣対策について
- 県経済の活性化について
- 農林水産業の振興について
- 県内の道路ネットワークについて
- 県内の道路整備について
- 県営水道について
- 県立学校の施設整備について
- 私学振興について
- 教育相談体制について
- 成田国際空港警備隊の再編について
- 交通事故の実態を踏まえた諸対策について
- その他

要望 センター機能の充実強化は、本県水産業の発展に必要不可欠です。本県の水産業が将来にわたって輝いていられるよう、しっかりと研究等に取り組める体制を築いていただきたい。

●鴨川・南房総地域の声を県政へ

木下けいじ 県事務所

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1 TEL.0470(44)4111 FAX.0470(44)4112

●木下けいじ公式ホームページ=http://kishitakeiji.com/ ●Eメール=info@kishitakeiji.com